

お仏壇のないご家庭は四十九日まで

分家初代のご家庭では、お仏壇のないところもあるようです。お仏壇とは、仏さまのお館です。その仏さまとは、亡き人を含めた私たちすべての凡夫（煩惱そのものの人間）を、お浄土に救わずにはおれないという、たのもしい願をおたてくださった、ご本尊・阿弥陀如来のことです。

ですから、もしお仏壇のないご家庭は四十九日といわず、早い時期にお迎えします。また、お仏壇を選ばれるにあたっては、安価高価、大小は問いませんが、仏壇店では、かならず「浄土真宗の××派」と宗旨を正確に伝えるようにしてください。お仏壇には迷信がつきものですが、気にする必要はありません。

ご本尊は本山から授与してもらいます

お仏壇を購入するとき、なにはおいても、まず、ご本尊をお迎えしなければなりません。浄土真宗のご本尊は、もちろん阿弥陀如来です。とくに一般のご家庭では、「方便法身の尊形」といわれる絵像の掛軸を、お仏壇の最上段・中央にお迎えします。また、「南無阿弥陀仏」の六字名号の掛軸の場合もあります。

そして、ご本尊の左右両脇には、お脇掛（向かって右に「帰命尽十方無碍光如来」の十字名号、左に「南無不可思議光如来」の九字名号か、右に宗祖・親鸞聖人、左に、その宗派にとくに貢献のあつ

た高僧Ⅱ例えば東、西本願寺では蓮如上人の肖像を配します。

これらご本尊やお脇掛は、いわゆる美術工芸品ではありませんので、お手次のお寺（ないしは直接）を通して、本山から授与（または交付）していただくようにし、さらに、お仏壇に合わせた大きさのご本尊でなければなりませんので、この点は、お仏壇を購入したときに、サイズ（五十代、百代など）と表示されているを、はっきりたずねておきます。

なお、ご本尊をお迎えしたら、入仏式（慶讃法要）をつとめます。

お寺の法要や行事にお参りください

お寺では、一年を通してさまざまな法要や行事がつとめられています。たとえば、お正月の修正会、春秋の彼岸会や永代経、お盆（盂蘭盆会）がありますが、なんといつても浄土真宗では、多くの人が集い盛大につとめられるのが「報恩

講」です。これは、宗祖・親鸞聖人のご命日に、そのお徳をしのんでつとめられるものです。ご命日とは弘長二年（一二六二）十一月二十八日（太陽暦で一月十六日）ですが、法要の日取りは、お寺によって異なります。

探究社

〒六〇〇一八二六八京都市下京区七条通大官東入大工町一二四―一
電話075(343)4121番・振替0103016121185

●中陰掛け

(243) 3,000